

Being KDDI, Being More **AMBITIOUS**

KDDIは、移动通信事業と固定通信事業を1社で併せ持つという独自の事業構造の特長を活かし、固定通信と移动通信、放送の融合による新たなサービスを創造するFMBCを推進していきます。その先に「アンビエント社会」を見据えながら。

KDDIを読み解くためのキーワード

● シンプルコース

総務省の「新競争促進プログラム2010」の下で開催されたモバイルビジネス研究会の報告を受け、移動通信事業者は2008年を契機として、販売代理店に端末販売奨励金を支払うことで、お客様が負担する端末価格を下げる従来の販売スキームに加え、「通信料と端末価格を分離した新たな料金プラン」を導入しました。

KDDIは、従来型の販売スキームとなる「フルサポートコース」と、分離された端末販売奨励金相当額を月々の基本料金から割引くように設定した「シンプルコース」を導入しました。2009年度のお客様の端末購入におけるコース選択率は、「シンプルコース」が約90%となっています。▶▶ P.34 「移動通信事業 2009年度の業績概況」

(料金は税込)

au 買い方セレクト		
コース名称	フルサポートコース	シンプルコース
販売奨励金	¥16,800	¥0
端末利用契約期間	2年間	なし 割賦制度利用による購入の場合は必要
月額基本料(無料通話)*	¥1,890(¥1,050)	¥980(¥1,050)
割賦による端末購入	なし	あり

* プランSS、「誰でも割」ご契約時の月額基本料金

● 800MHz帯周波数の再編

800MHz帯周波数の再編とは、2012年7月までに現在の上り(携帯電話端末→基地局)と下り(基地局→携帯電話端末)の方向を入れ替えるとともに、細切れで割り当てられている周波数をブロックにして、新たに割り当てるといったものです。

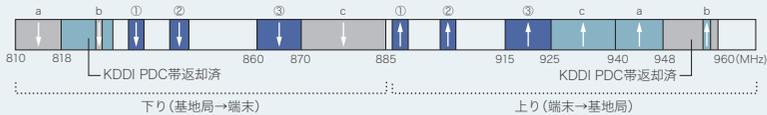
現在、当社は800MHz帯をメインバンドとして利用していますが、今後さらに2GHz帯のカパレージ充実を図るとともに、2012年7月までの移行完了に向けて新800MHz帯のエリア拡大を積極的に行っています。また、現行800MHz帯、2GHz帯に加えて、新たに割り当てられる800MHz帯にも対応したトライバンド対応機の提供を進めており、2010年3月末時点で約2,187万台、おおよそau全体の71%がトライバンド対応機となっています。

2年後の2012年7月における新周波数帯への切り替えまでに、auのすべてのお客様がトライバンド対応機を利用されるよう、対応端末の提供を推進していきます。

▶▶ P.36 「ネットワーク」

800MHz帯の周波数再編 ■ KDDI ■ NTTドコモ

現状



2012年7月以降



● KCP+

(KDDI 統合プラットフォーム)

端末コストの削減と開発期間の短縮を目的として、端末メーカーが独自に開発していたソフトウェアを共通化したプラットフォーム(KCP)の共通化領域を、基本アプリケーションから携帯電話のソフトウェア全域へと拡張したのがKCP+です。携帯電話の新規開発段階における、一層の開発期間の短縮およびコストダウンに貢献しています。

▶▶ P.37 「端末」

● KDDI統合プラットフォーム(KCP+)

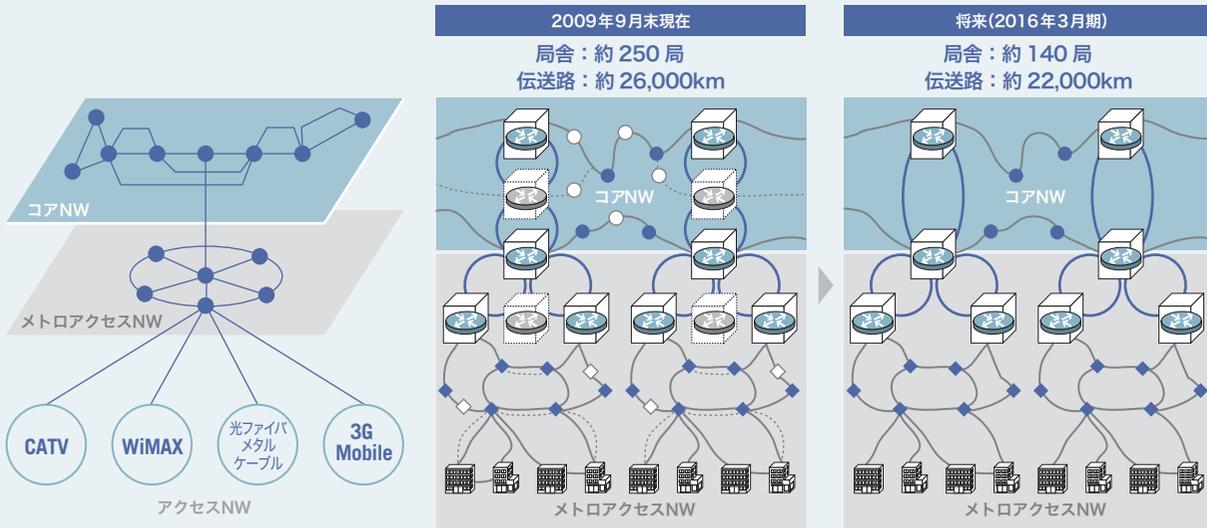


□ 共通化領域 ■ 共通化部分 ■ 部分共通 ■ 非共通部分

● 固定系ネットワーク(NW) スリム化

2000年以降、相次ぐ合併により全事業を支えるコアネットワーク・メトロアクセスネットワークの部分が複雑化しており、事業基盤強化の観点から抜本的なネットワークコストの削減が大きな課題となっていました。そこで、2016年3月期までの固定系ネットワークスリム化計画を策定し、局舎や伝送路の整理、統合により、品質を維持・向上しながらコストの削減を図っています。

▶▶ P.42 「固定通信事業 2009年度の業績概況」



● グローバルICT

主に日系企業のグローバルビジネスの進展に伴う高品質・広帯域、低コストのICTソリューションニーズにお応えするために、KDDIは世界25ヶ国、57都市、87拠点においてグローバルICTビジネスを展開・強化しています。とりわけデータセンター事業は、「TELEHOUSE (テレハウス)」ブランドで、9地域 11都市 17拠点、総床面積 約113万m²、契約社数約1,200と、世界有数の規模を誇ります。

▶▶ P.45 「グローバルICT」

KDDIのグローバル事業展開図
(2010年6月14日現在)



欧州ブロック

ロンドン
デュッセルドルフ
フランクフルト
アムステルダム
パリ
ブリュッセル
モスクワ
サンクトペテルブルグ
ワルシャワ
ジュネーブ
ケープタウン
ヨハネスブルグ

東アジアブロック

香港
北京
天津
長春
濱海
大連
青島
上海
広州
南沙
深セン
台北
無錫
福州
マカオ
ソウル
プサン

東南アジアブロック

シンガポール
グロガオン
ニューデリー
ニムラナ
ムンバイ
チェンナイ
バンガロール
ドバイ
バンコク
クアラルンプール
ジャカルタ
マニラ
ハノイ
ホーチミン
シドニー
メルボルン
ウランバートル
ウラジオストック
ダッカ

米州ブロック

ニューヨーク
ニュージャージー
ロサンゼルス
サンフランシスコ
ヴァージニア
シカゴ
ケンタッキー
デトロイト
アスンシオン